



編集発行所
990 山形市鉄砲町一丁目
15-64
山形県立山形西高等学校
嚶 鳴 同 窓 会
電 話 41-3504

生徒と卒業生が共に手をとりあつて

嚶鳴会館落成によせて

嚶鳴同窓会会長 相澤 榮



去る六月二十五日は母校の創立記念日でありました。今年で母校も九十五周年という節目の年を迎えました。それにさきかけて、懸案の嚶鳴会館が完成し、五月二十



同窓会員のみなさまには、母校のために何かとご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ごあいさつ

学校長 沼澤 豊

の最大の事業である嚶鳴会館の建設は、校舎改築その他諸般の事情によりのびのびになっており

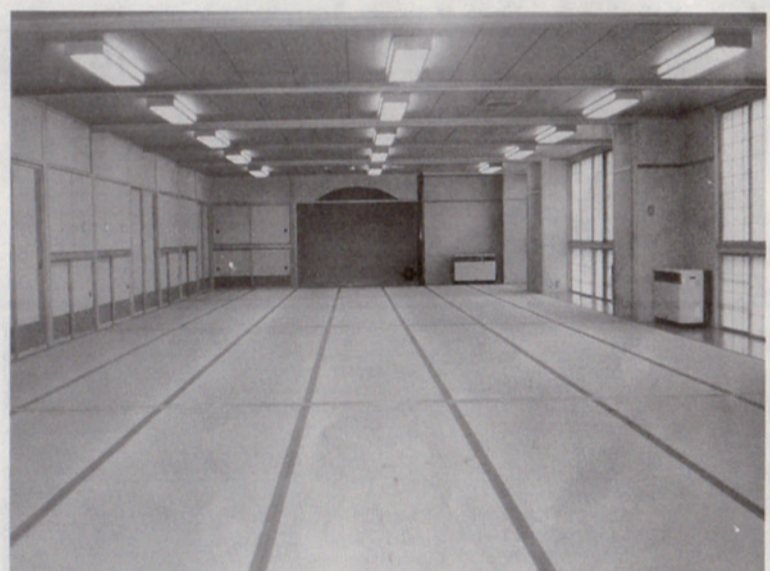
があり、各方面より注目をされております。特にここ数年間の進学実績を見れば、質量共に着実に充実していると言えます。進路先は地域的にも拡大し、学部も多岐にわたります。いわゆる超難関大学に挑戦する生徒も出てくるようになり

六日は関係団体が集まり落成祝賀会が行われました。完成された嚶鳴会館は女子の高校にふさわしくラベンダー色の壁面が周りの校舎とよく調和して、その麗容は訪れた者の眼を惹きつけてくれます。

五月二十六日の、会館のご披露日には、茶室「済美庵」で茶道部の生徒さんのお点前を頂戴してまいりました。入口に掲げられているのは、稲村ハナ子さんのお義兄様文学博士芳賀幸四郎先生に筆を揮って頂いたものでございます。

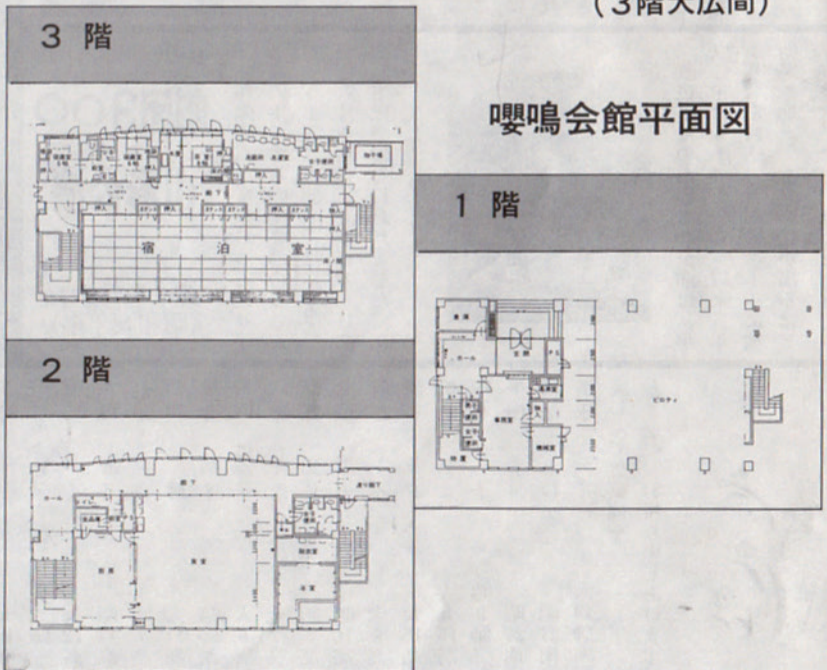


(新嚶鳴会館の外観)



(3階大広間)

嚶鳴会館落成



嚶鳴会館平面図



(厨房)

(水屋)

幸福な時間 平成四年度同窓会総会

一昨年の同窓会総会後、懐かしい思いで離れがたく、そのまま会場のホテルのラウンジへ向かいました。昭和四十七、八年卒業の私達は、まだ育児や仕事に忙しい人が多く、ほとんどが卒業以来、二十年ぶりにお会いする方ばかりでした。でも、すぐ十七、八才の時の面影が思い返されて、高校時代よりもむしろ親しく話が弾みました。そして、その時のメンバーが中心となって、平成四年度嚶鳴同窓会総会の実行委員としてそれからの一年間、準備をして参りました。何れも協議を重ね、万全の体勢で臨もうと試行錯誤の繰り返しの中で、いよいよ平成四年十一月十五日の当日を迎えたのです。前年度までの三千五百円から、一挙に五千円への会費の値上げということもあり、出席数が心配されましたが、先輩の皆様のご理解を得て、五百余名の参加者があり、幹事一同、石幡さんの演奏



石幡さんの演奏

ゲストとしてお迎えしたヴァイオリンの石幡(旧吉田)四七卒、明美さんとピアノ伴奏の石原都美さんには、お忙しい中、わざわざ東京からおいでになり、素晴らしいプロの演奏を聴かせて下さいました。石幡さんは日本でも有数のオーケストラ、「新日本フィルハーモニー交響楽団」を退団後、現在はフリーの演奏家として幅広く活躍なさっていますが、そんな方をクラスメイトにもって、とても幸せなことです。

会食にはいると、五一年卒業の石川純子さんの素敵なピアノの弾き語りからステージから聴こえてきました。次々とヒットポップスが、時にはソフトに、時にはリズムカールに会場に流れ、尚、一層楽しい雰囲気を感じ上げて下さいました。私達の恩師を代表して、「学ちゃん。こと柏倉学先生のお話。一年生の時の「ドボン合宿」の話等も



旧友との楽しいひととき

平成5年度 総会のお知らせ

とき 11月14日(日)
10:00~
ところ オーヌマホテル
(山形市)
会費 5,000円

皆様ぜひおいで下さい。



平成五年の嚶鳴同窓会東京支部総会が、梅雨の晴れ間を縫って、七月十一日に東京プリンスホテルで開催されました。当日は二八〇名もの多数の同窓の方々が、お元気なお顔を見せて下さいました。なかには昭和三年の卒業の先輩も、凛としたお姿で受け付けにいらして下さり、改めてこの同窓会の持つ歴史に胸を熱くしました。

当日はご来賓としてお迎えした西高の沼澤校長先生、事務局長の栗野絃子先生、同窓会本部会長の相沢栄様から、近年進学校として全国的にも有名になった西高の様子、行事や部活動にも全力で励んだ嚶鳴会館について等のお話を伺いました。また、当番学年の恩師である須藤康一先生、伊瀬大郎先生、大宮文子先生のお話があり、懐しい二十年程前の母校を振り返りながら、時代の流れにしみじみと思いをさせる事ができました。

した。恩師の先生方は、現在もお忙しく御活躍の御様子で、頼もしく拝見いたしました。

宴もたけなわになり、いよいよ嚶鳴女声合唱団三十二人によるアトラクションが始まり照明が暗転すると、今野千春先生の奏でる美しいピアノの音色と素晴らしい歌声が、ホール中に響き渡りました。四十四年卒の榎谷博子さんの司会

も歌を続けたいという皆さんの努力に支えられ、ついに今日にまで到りました。同窓生による合唱団でこれ程の実力を持つものは、全国にもありません。と、熱く語られたのが、とても印象的でした。

十月末には、虎の門ホールで、演奏会も開かれます。御成功をお祈り申し上げます。

さて、本年度の当番を務めるに晴らしさを知ったと思います。私達一人一人が同窓生として、この会を大切にしたいと思

ような集まりを何度か持つ事ができました。主婦として、職業人としての生活の合間を縫いながら会を持ち、準備を進めてゆくうちに、かつて合唱祭などでクラス毎に活動し、経験したままとり等もふと思ひ出され、楽しみな仕事になってゆきました。

今、改めて伝統というものの素晴らしさを知ったと思います。私達一人一人が同窓生として、この会を大切にしたいと思

あり、しばしナイフとフォークの手を休めて、お話に聞き入りました。また、東京支部の代表の方も駆けつけて下さり、東京支部総会の盛会の様子などを交え、スピーチを頂戴していると、もう閉会の時刻が近づいてきたのです。新旧の校歌を参加者全員で唱和し、四十八年卒の高橋(旧高橋)千賀子さんの閉会の辞で締め括りました。

安堵感、満足感、そして反省と様々な思いが胸に去来しました。本当に色々ありがとうございました。

校内理事の先生方、プログラムの、チケット、ポスターを素敵にデザインしてくれた武田(旧結城)玲子さん(四七卒)、当番学年の四十七、八年卒の皆様ご苦労様でした。

最後に、嚶鳴同窓会の益々の発展と、皆様のご健康をお祈りし、次回のご盛会をお祈り申し上げます。

昭和四十七年卒業
当番学年 横澤直美

平成五年春の叙勲で、山形市緑町の溝口静さん(昭和十五年高女卒)が、藍綬褒章を受けられました。多年調停委員としての活躍が評価されたの受賞です。また、同時にご主人の溝口謙三さんも勲二等瑞宝章の榮譽に浴し、「おしどり受章」として話題になりました。

誠におめでとうございます。

溝口さんは、今後も家庭裁判所とのパイプ役として活躍を続けられるとのことです。ご活躍を期待いたします。

同窓生の活躍

六月、昭和五十四年卒業の二戸敦子さんが、精力的に続けてきた果内のリサイクル活動を評価され、山形青年会議所が設けた「二十一世紀若者大賞」を受賞されました。

「二十一世紀若者大賞受賞」によせて

二戸 敦子

この度、思いがけず山形青年会議所の「二十一世紀若者大賞」をいただきました。いつも先生にしながら歌って来た私ですが、こうして何らかの形で認めていただいたのも、皆様のおかげと、心から感謝いたします。

これから歌いたい曲は山程あるのですが、歌以前の歴史、語学等やらなければならぬことが、これも山程で、「一生は何もしないに長いし、何かするには短いけれども、力の及ぶ限り努力していきたい」と思っています。

また、身体ももっとと鍛えて、心にゆとりを持って、この受賞を機に、さらにスケールの大きい歌い手になれる様、がんばっていきたいと思います。これから温く見守って下さい。

劇団300
山形公演

渡辺えり子さん
(昭和48年卒)

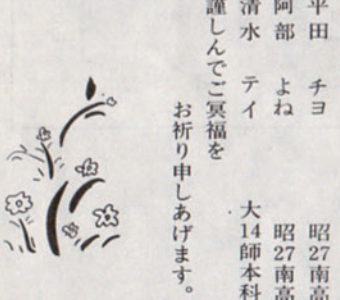
昭和四十八年卒業の渡辺えり子さんの主宰する劇団300(さんじゅうまる)の公演「月に眠る人」が、六月十九日、二十日の二日間、山形市民会館で行われました。

公演ポスターより

鬼籍簿

伊藤	とみ	昭6高女
野村	秀子	昭34西高
加藤	カウ	昭3実科
長岡	光江	昭8高女
掛下	冬子	昭20高女
柿崎	和子	昭20高女
長谷川	美	昭4高女
斎藤	俱子	昭19高女
熊沢	サダ	昭19高女
名取	芳子	昭4高女
明日	とし子	昭14高女
奥山	実穂子	昭13高女
松田	チエ子	昭11高女
木下	静	昭11高女
青山	よし乃	昭9高女
安田	好江	昭38西高
青山	マサ	昭4高女
高橋	ふじ江	昭4高女
佐藤	房子	昭6高女
斉藤	キミ	昭20高女
田中	ケイ	昭12実科
太田	ひさ	昭7師一部
遠藤	スズエ	昭15高女
高岡	廣	昭11高女
半沢	英子	昭15高女
多勢	節子	昭14高女
宇智英ナカノ		昭5師一部
山口	いく	昭12高女
大槻	照子	昭11高女
高子	コウ	昭7高女
松岡	房	昭11高女
福井	聡子	昭60西高
古沢	はな子	昭8実科
八俣	千代	昭7高女
今野	光子	昭5高女
金子	哲子	昭16高女
矢野	ふみ	昭8高女
酒匂	キヨ	昭15高女
松田	タミ	昭15高女
細矢	せつ子	昭9師一部
平田	チヨ	昭27南高
阿部	よね	昭27南高
清水	テイ	昭14師本科

お祈り申し上げます。



職員動向

小関 昌一(教頭・社会)
菅野祐三子(音楽)
中村美乃里(スポーツ指導員)

井上 義夫(社会) 山形南高へ
大竹 恵里(家庭) 山形工高へ
植松 祥子(書道) 村山農高へ

今井 英男(教頭・社会) 左沢高より
藤田 明子(家庭) 県教育センターより

校内合唱コンクール

平成四年度

- 〈課題曲〉
A、「風の子守歌」
B、「秋を呼ぶ歌」
C、「Ave Maria」
〈総合第一位〉 三年五組
自由曲「愛の川」より「誕生」

わがクラス会

昭和十九年 高女五年一組



設備と広く美しい教室で後輩達が元気に学んでいました。...

後輩たちの活躍 平成4年度部活動報告

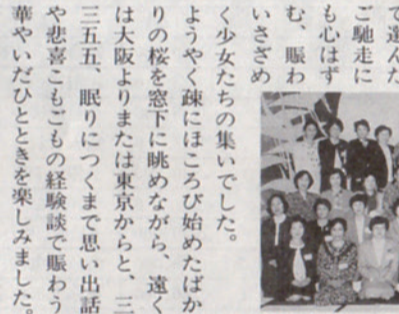
Table with sports categories (Basketball, Tennis, etc.) and lists of winners and their schools.



平成四年度は、バスケットボール部、登山部のインターハイ出場をはじめ、...

誕生西二の会

昭和三十一年卒業



西高第二回卒業生は、卒業以来初めての、四クラス合同の学年会を開催しました。...

恩師をたずねて

悠々自適の毎日 柴崎徳太郎先生を訪ねて



柴崎徳太郎先生のお宅を訪れたのは七月五日。肌寒い日でした。...

武田先生は、昨年来寿を迎えられて高年齢の上に、痛む膝を杖でかばいながら私たちに会いたい一心で越え下されたこと、...



訪問者 佐藤 明子 後藤 きよ (二十七年卒)

母校訪問 四十年ぶり訪ひし母校は 改築の成りて二本の桜残れる...

平成 4 年度 経常費 決算

1. 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△)	摘要
入会費	927,000	927,000	0	3,000円×309人
会費	968,000	918,000	△50,000	
雑収入	5,000	1,856	△3,144	利子
計	1,900,000	1,846,856	△53,144	

2. 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	残額	摘要
総会費	600,000	570,000	30,000	総会、各支部総会
会議費	95,000	69,120	25,880	評議員会、クラス幹事会等
後援費	105,000	105,000	0	会員後援等
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員への記念品
印刷発行費	350,000	256,727	93,273	会報印刷、その他印刷
事務費	40,000	3,003	36,997	事務用品
通信費	100,000	56,980	43,020	連絡通信用ハガキ、切手
慶弔費	165,000	144,989	20,011	会員弔電代、その他
交通費	200,000	220,740	△20,740	東京支部総会旅費他
諸費	140,000	165,221	△25,221	母校へ
予備費	30,000	20,000	10,000	
計	1,900,000	1,686,780	213,220	

3. 差引残高

(総収入) (総支出) (差引残高)
1,846,856円 - 1,686,780円 = 160,076円

平成 5 年度 経常費 予算

1. 収入の部

(単位：円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
入会費	927,000	939,000	12,000	3,000円×313人
会費	968,000	956,000	△12,000	
雑収入	5,000	5,000	0	銀行利子
計	1,900,000	1,900,000	0	

2. 支出の部

(単位：円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
総会費	600,000	570,000	△30,000	総会、各支部総会
会議費	95,000	95,000	0	評議員会、クラス幹事会等
後援費	105,000	110,000	5,000	会員後援等
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員への記念品
印刷発行費	350,000	320,000	△30,000	会報印刷等
事務費	40,000	40,000	0	事務用品
通信費	100,000	80,000	△20,000	連絡通信用ハガキ、切手
慶弔費	165,000	170,000	5,000	会員弔電代、饗別等
交通費	200,000	230,000	30,000	東京支部総会旅費他
諸費	140,000	180,000	40,000	母校へ
予備費	30,000	30,000	0	
計	1,900,000	1,900,000	0	

平成 4 年度 基本金 決算

I. 収入の部

- 1. 前年度繰越金 7,408,630円
- 2. 記念品(バッチ)代立て替え分 75,000
- 3. 総会残金 253,514
- 4. 総会お祝い 263,000
- 5. 利子 定期預金利子 243,163
普通預金利子 7,599

8,250,906円

II. 支出の部

- 1. 総会補助 100,000円
- 2. 記念品(米寿・喜寿) 90,640
- 3. 謝礼 50,000

240,640円

III. 差し引き残高

8,010,266円

編集後記

白田 武田 関野 青木 菅野 長岡 中原 大宮
田 田 野 木 野 岡 えい 宮
伊 和 智 智 玲 子 文 子
織 恵 子 子 子 子 子
一 校 内 理 事 一
一 会 報 編 集 委 員 一
武 田 清 川 渡 鈴
田 野 野 崎 辺 木
美 和 和 礼 民 貞
知 子 子 子 子 子

新嚶鳴会館の落成記念式典など、何かと忙しい中での会報編集でした。色々都合な点があることと存じます。ご意見を頂ければ幸いです。
紙面の各所を飾ってくれたイラストは、編集委員の長岡さんの筆によるものです。今年と同窓会総会のポスターも手がけられております。
様々な方面からのご協力に感謝申しあげながら、会報19号をお届けしたいと思います。

平成 4 年度 会務報告

- 平成 4 年 4 月 8 日 入学式
- 5 月 7 日 会計監査
- 11 日 第 1 回 評議員会 (於：西高会議室)
- 24 日 西村山支部総会 (於：西川町間沢)
- 28 日 第 1 回 会報編集委員会
- 6 月 25 日 創立 94 周年記念式 校内合唱コンクール
- 26 日 評議員後援活動委員会 (於：校長室)
- 7 月 11 日 東京支部総会 (於：東京プリンスホテル)
- 24 日 嚶鳴会館建設部会
- 8 月 10 日 第 2 回 評議員会 クラス幹事会
- 17 日 嚶鳴会館地鎮祭
- 10 月 16 日 総会当番・正副会長・校内事務局打ち合わせ
- 11 月 15 日 同窓会総会 (於：オーヌマホテル)
- 25 日 総会当番幹事引き継ぎ会
- 平成 5 年 1 月 26 日 米沢東高校 (修誠同窓会) 来校
- 3 月 7 日 同窓会入会式

平成 4 年度 維持会費 納入状況

(1992年 4 月 - 1993年 3 月の間に納入されたもの)

平成 2 年度分

S 44 5 高橋 了

平成 3 年度分

西高 S 31 2 西村 仙子 西高 S 48 6 滝山志津子
S 44 5 高橋 了 S 57 4 松田栄美子

平成 4 年度分

女師 S 10 二部 高橋 節子 高女 S 20 1 菅原 タカ 西高 S 34 3 日野 紀
S 11 二部 大沢 たか 2 阿部 英子 S 34 4 深瀬よし子
S 12 一部 佐藤 とく S 20 1 中原えい子 S 35 1-5 小関 史子
S 13 一部 荒井八重子 (4 年卒) S 36 1-5 長岡 玲子
S 13 二部 鈴木 初枝 2 大塚美枝子 S 37 2 田口きみ子
S 14 一部 鈴木 芳 3 丹野 静枝 3 佐藤 紀子
S 14 二部 柳野チヨ子 S 20 3 小嶋 綾子 5 多田美恵子
S 15 一部 高内キクエ (5 年卒) S 38 1-5 鎌田きみ子
S 15 二部 上嶋 西代 S 21 1-2 橋詰 絢子 S 39 1-5 川崎 礼子
S 16 二部 永沼 基 S 21 3 市村 豊子 S 42 2 庄司 範子
木村 喜代 (5 年卒) 4 元木 昇子
S 17 一部 後藤キミエ S 22-24 阿部 明子 S 43 1-6 長谷川方子
S 17 二部 小林 ちよ S 23-25 須貝 清子 S 44 1 清野 和子
S 18 一部 五十嵐テル子 S 45 3 鈴木 洋子
S 18 二部 杉本 ひで 南高 S 26 1 細谷 貞子 4 岩井 幸永
2 土屋 幸子 S 45 5 山口美智子
高女 S 7 1-2 朝倉 カツ 3 曾根田 麗子 S 46 1-6 青木 智子
S 9 1-2 杉浦 ゆき 4 中村あさ子 S 48 4 深瀬 恵子
S 10 1-2 佐藤 しま S 27 1-5 安藤 朋子 6 滝山志津子
野々村ちや子 S 49 4 河野 知子
S 12 1-2 中村 チエ 西高 S 30 1-4 渡辺 民子 S 57 4 松田栄美子
S 13 1-2 鈴木 操 S 31 2 西村 仙子 S 60 6 秋田 知子
S 14 1-2 佐藤 光 3 三浦 直子 S 61 1 開沼真奈美
S 15 1-2 尾形 好子 4 倉金 必子
S 16 1-2 石関・奥泉 S 32 専攻 堀米 弘子
S 17 1-2 斎藤 美代 S 33 1-4 黒沢八重子
S 18 1 相馬 弘子 S 34 1 加藤 静子
2 高柳 啓子 3 丹野シゲ子
S 19 1 尾原 吉
2 庄司志満子

平成 5 年度以降

S 11 1-2 安部真佐子 (平成 5 年) S 45 4 岩井 幸永 (平成 5~15 年)
S 34 3 丹野シゲ子 (平成 5 年) S 45 5 山口美智子 (平成 5 年)
3 日野 紀子 (平成 5 年) S 48 6 滝山志津子 (平成 5 年)
S 37 5 多田美恵子 (平成 5・6・7・8 年) S 44 1 清野 和子 (平成 5 年)
S 37 3 佐藤 紀子 (平成 5・6・7・8 年) S 61 3 山口茂登 (平成 5・6 年)

1992年 4 月 - 1993年 3 月納入分 延152クラス分304,000円

